

農林水産省における業務改善等の取組状況に関する意識・意向調査結果

この調査は、平成23年10月上旬～中旬にかけて、農林水産情報交流ネットワーク事業の全モニター6,600名（消費者モニター1,800名、生産者モニター2,800名、流通加工業者モニター2,000名）に対して実施し、消費者モニター1,551名、生産者モニター2,277名、流通加工業者モニター1,361名の計5,189名から回答を得た結果である。

【調査結果の概要】

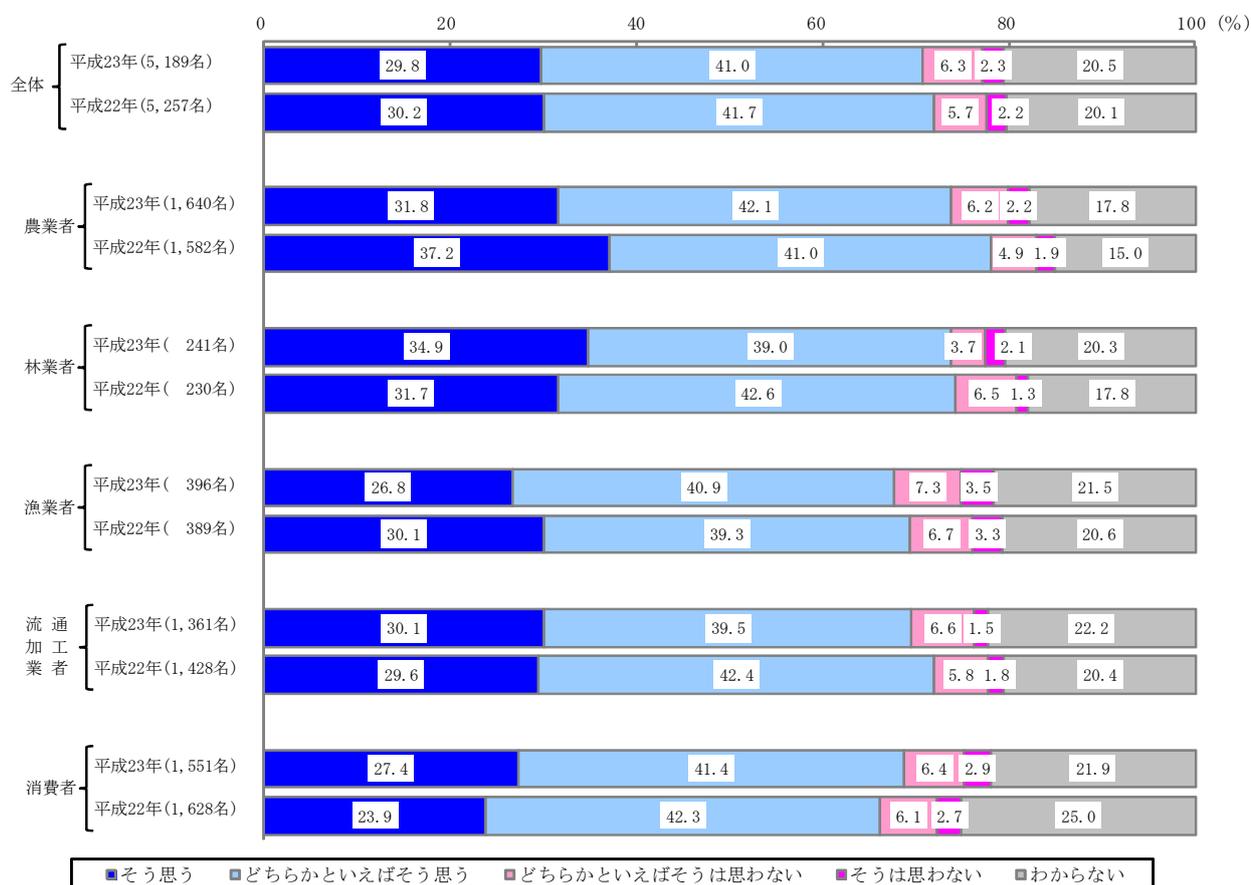
1 農林水産省の業務、対応等について

(1) 農林水産省の職員の対応や態度は親切・丁寧で好感が持てると思いますか。

全体では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的評価をした割合は70.8%であった。一方で、「そうは思わない」、「どちらかといえばそうは思わない」と否定的評価をした割合は8.6%、「わからない」と評価をしなかった割合は20.5%であった。

昨年の結果と比較すると、肯定的評価をした割合は1.1ポイント減少し、否定的評価をした割合は0.7ポイント増加した（図1-1）。

図1-1 農林水産省職員の対応や態度は、親切・丁寧で好感が持てる

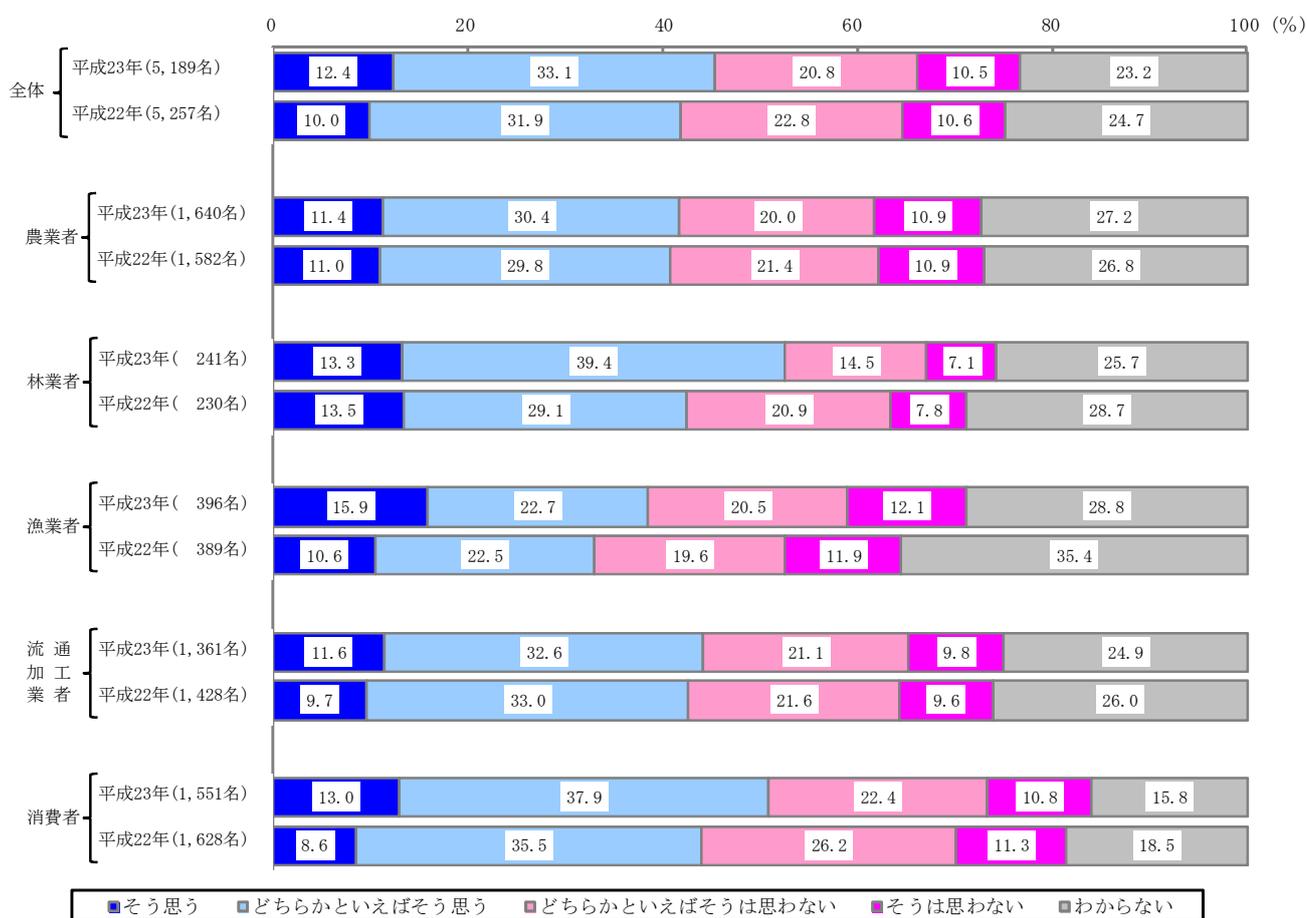


(2) 農林水産省本省及び各地方出先機関の窓口やホームページなどに設置している意見、質問等の受付窓口は、国民の皆様にとって意見等を出しやすいと思いますか。

全体では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的評価をした割合は45.5%であった。一方で、「そうは思わない」、「どちらかといえばそうは思わない」と否定的評価をした割合は31.3%、「わからない」と評価をしなかった割合は23.2%であった。

昨年の結果と比較すると、肯定的評価をした割合は 3.6ポイント増加し、否定的評価をした割合は2.1ポイント減少した（図1-2）。

図1-2 意見、質問等の受付窓口は、国民にとって意見等を出しやすい

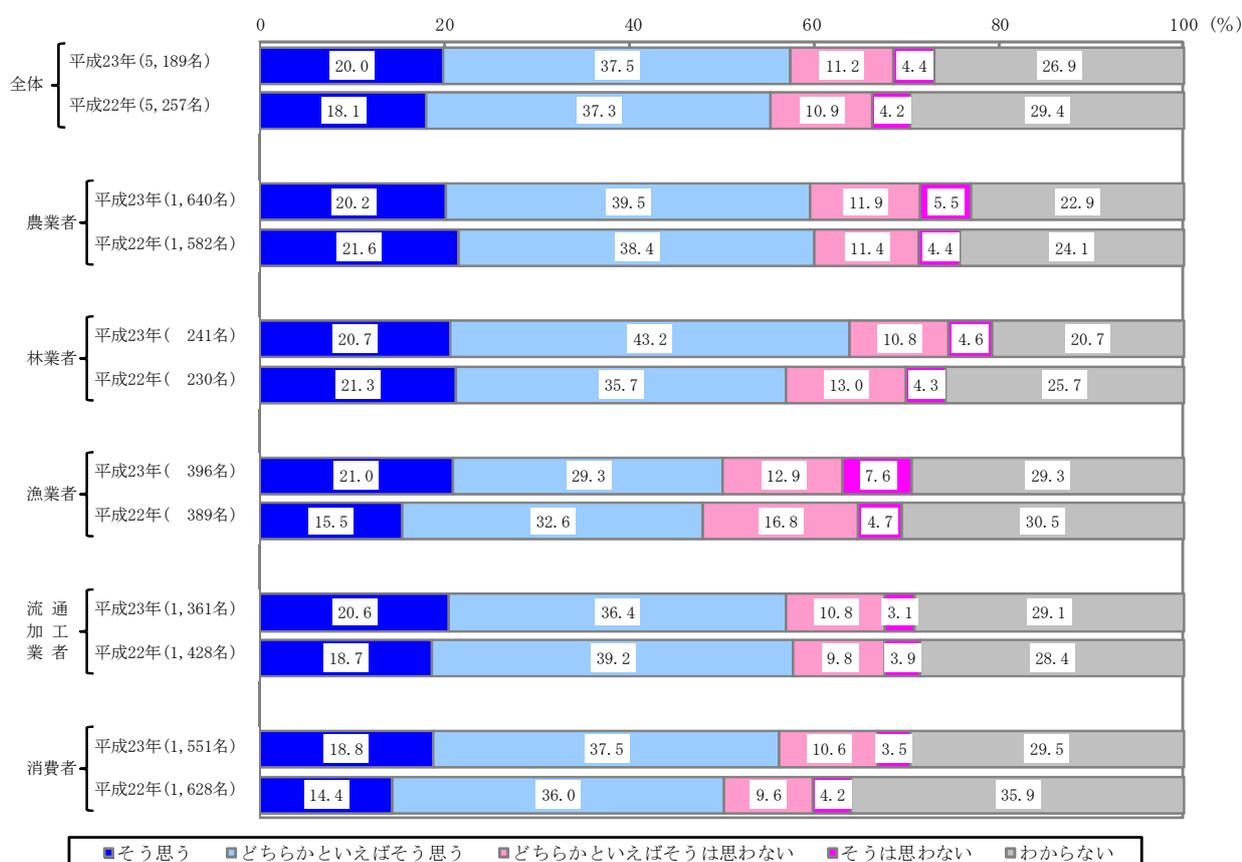


(3) 農林水産省においては、問い合わせや各種申請に対する対応は適切であると思いますか。

全体では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的評価をした割合は57.5%であった。一方で、「そうは思わない」、「どちらかといえばそうは思わない」と否定的評価をした割合は15.6%、「わからない」と評価をしなかった割合は26.9%であった。

昨年の結果と比較すると、肯定的評価をした割合は2.1ポイント増加し、否定的評価をした割合は0.5ポイント増加した（図1-3）。

図1-3 問い合わせや各種申請に対する対応は適切である

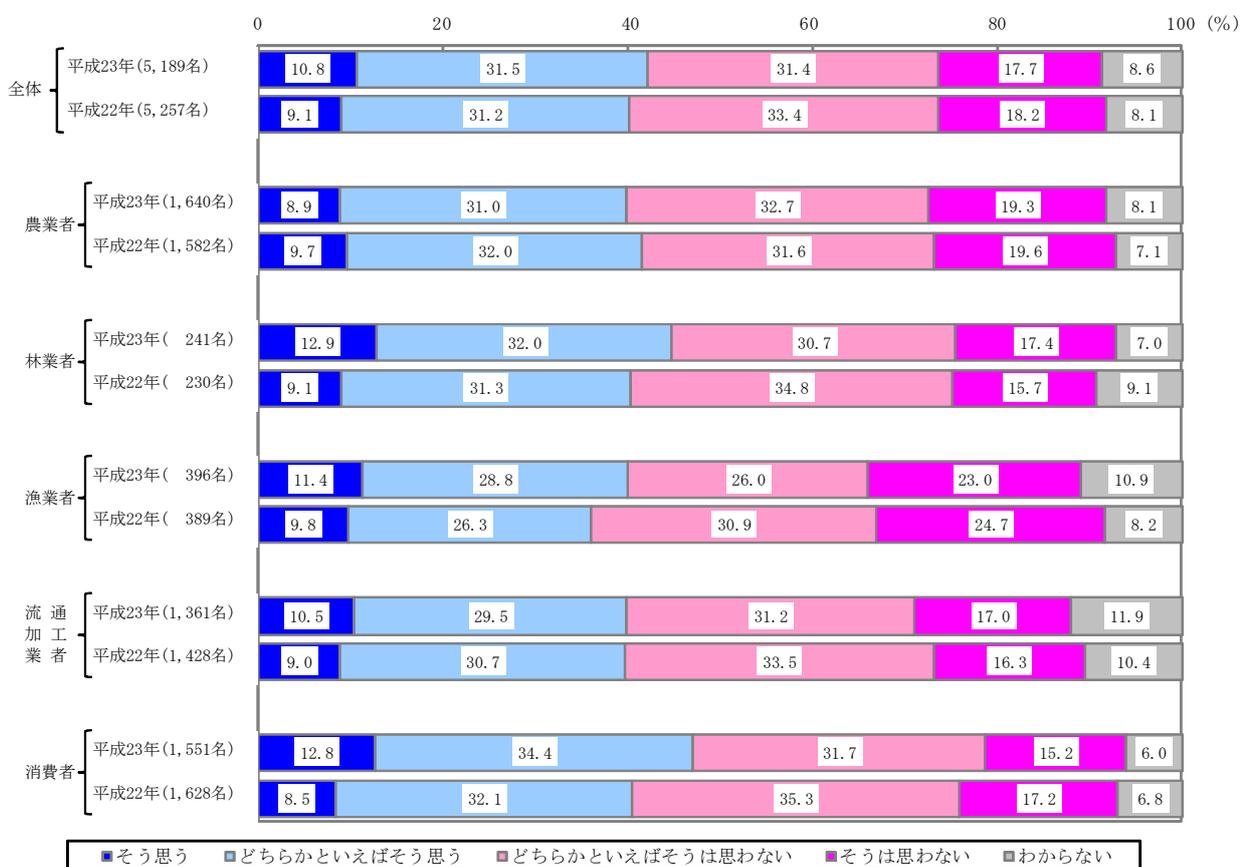


(4) 農林水産政策の目的や政策担当者の意図を国民の皆様理解していただくための説明や広報など情報提供が十分に行われていると思いますか。

全体では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的評価をした割合は42.3%であった。一方で、「そうは思わない」、「どちらかといえばそうは思わない」と否定的評価をした割合は49.1%、「わからない」と評価をしなかった割合は8.6%であった。

昨年の結果と比較すると、肯定的評価をした割合は 2.0ポイント増加し、否定的評価をした割合は2.5ポイント減少した（図1-4）。

図1-4 政策目的や担当者の意図等の理解のための情報提供が十分に行われている

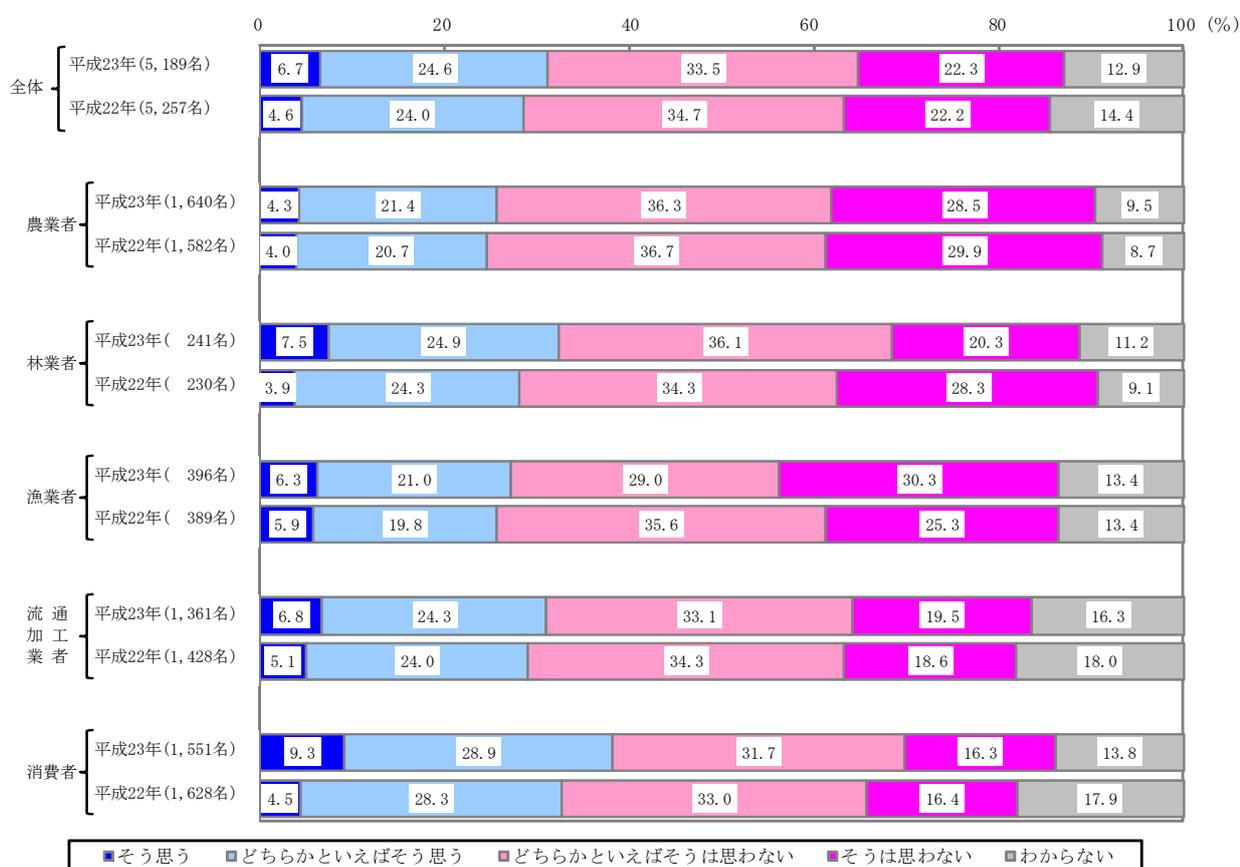


(5) 農林水産省は、政策を実施する際に、国民の皆様の意見を十分聞いていると思いますか。

全体では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的評価をした割合は31.3%であった。一方で、「そうは思わない」、「どちらかといえばそうは思わない」と否定的評価をした割合は55.8%、「わからない」と評価をしなかった割合は12.9%であった。

昨年の結果と比較すると、肯定的評価をした割合は 2.7ポイント増加し、否定的評価をした割合は1.1ポイント減少した（図1-5）。

図1-5 政策を実施する際に、国民の皆様の意見を十分聞いている

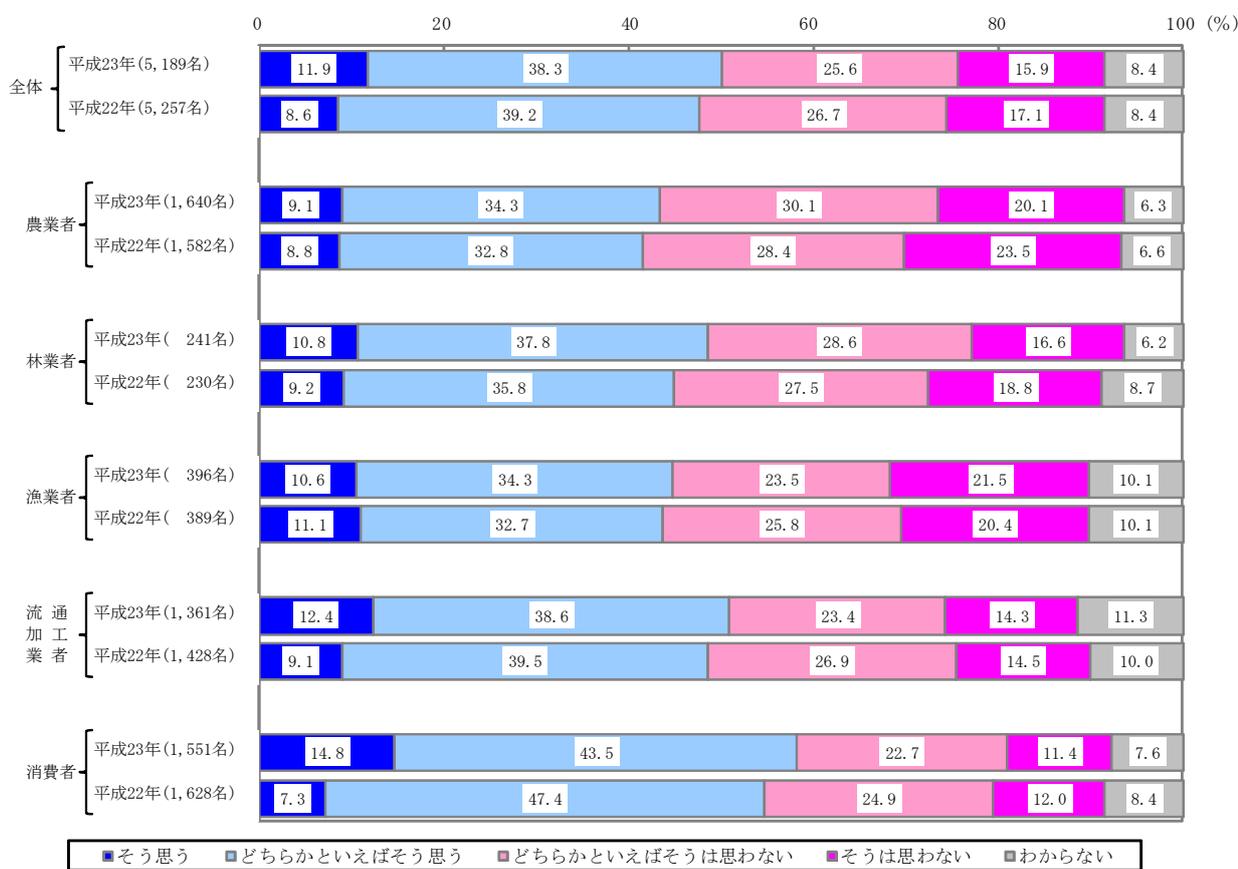


(6) 農林水産省は、食料の安定供給の確保、農林水産業の発展等の使命を十分果たしていると思いますか。

全体では、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的評価をした割合は50.2%であった。一方で、「そうは思わない」、「どちらかといえばそうは思わない」と否定的評価をした割合は41.5%、「わからない」と評価をしなかった割合は8.4%であった。

昨年の結果と比較すると、肯定的評価をした割合は 2.4ポイント増加し、否定的評価をした割合は2.3ポイント減少した（図1-6）。

図1-6 食料の安定供給の確保、農林水産業の発展等の使命を十分果たしている



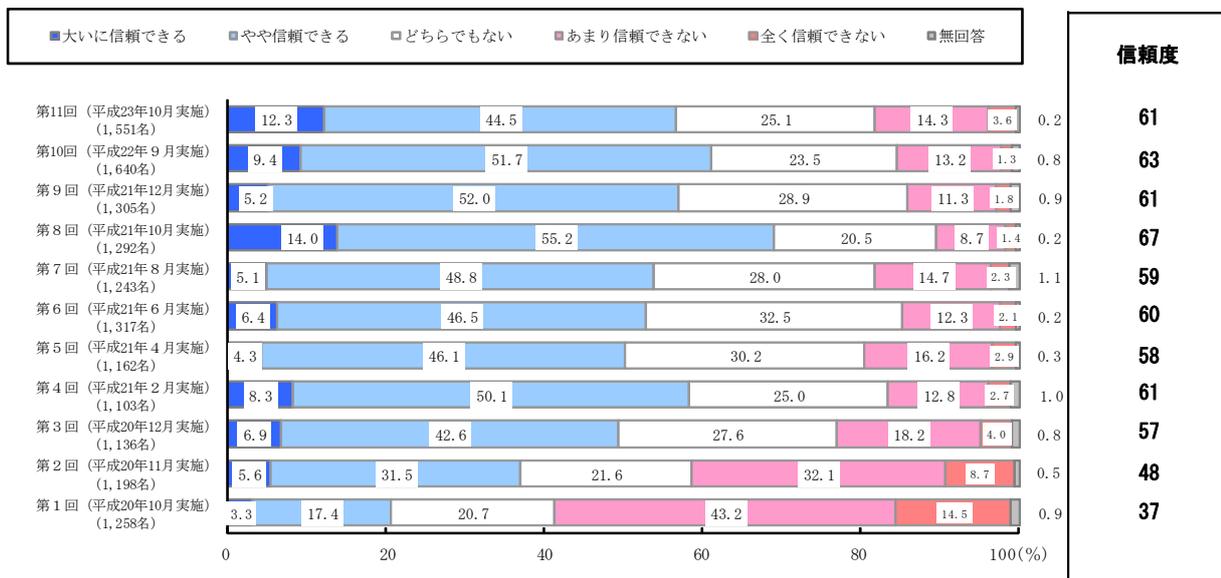
2 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組についての調査

(1) 消費者モニターの評価

平成20年10月以降、定期的に調査してきた「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組に対する消費者モニターの評価については、56.8%のモニターが「信頼できる」（「大いに信頼できる」と「やや信頼できる」の合計。以下同じ。）としたのに対し、17.9%のモニターが「信頼できない」（「あまり信頼できない」と「全く信頼できない」の合計。以下同じ。）と回答した。

また、これを指数化した信頼度は「61」となった（図2-1）。

図2-1 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組（消費者モニターの評価）



※ 各回の調査の詳細は以下のとおりである。
 第11回：平成23年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省における業務改善の取組状況に関する意識・意向調査」
 第10回：平成22年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省における業務改善の取組状況に関する意識・意向調査」
 第9回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「食品及び農業・農村に関する意識・意向調査結果」
 第8回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「新型インフルエンザに関する意識・意向調査結果」
 第7回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省における改革への取組に関する意識・意向調査結果」
 第6回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「漁業の担い手の確保・育成に関する意識・意向調査結果」
 第5回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省改革の取組状況に関する意識・意向調査結果」
 第4回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省の広報活動に関する意識・意向調査結果」
 第3回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「事故米に関する農林水産省の取組についての意識・意向調査結果（第2回）」
 第2回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「事故米に関する農林水産省の取組についての意識・意向調査結果（第1回）」
 第1回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省の役割に対する期待と評価に関する意識・意向調査」

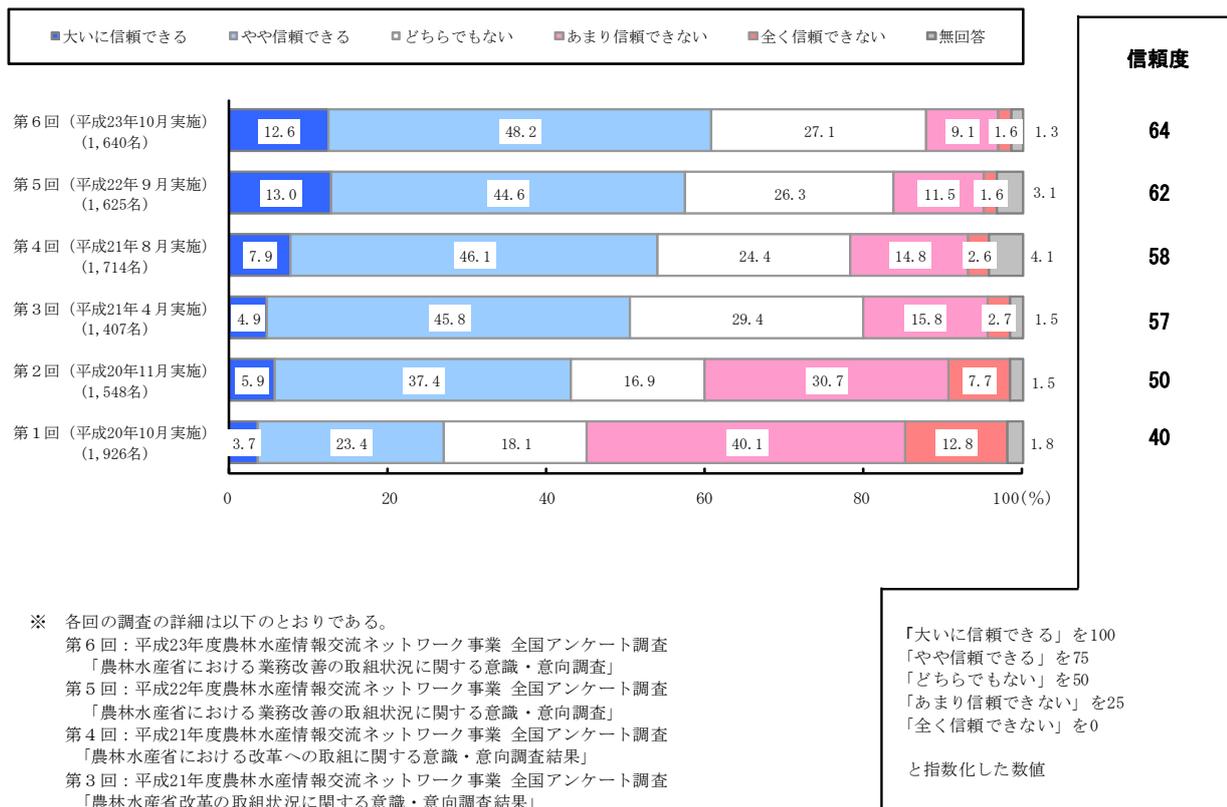
「大いに信頼できる」を100
 「やや信頼できる」を75
 「どちらでもない」を50
 「あまり信頼できない」を25
 「全く信頼できない」を0
 と指数化した数値

(2) 農業者モニターの評価

農業者モニターの評価については、60.8%のモニターが「信頼できる」としたのに対し、10.8%のモニターが「信頼できない」と回答した。

また、これを指数化した信頼度は「64」となった（図2-2）。

図2-2 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組
(農業者モニターの評価)

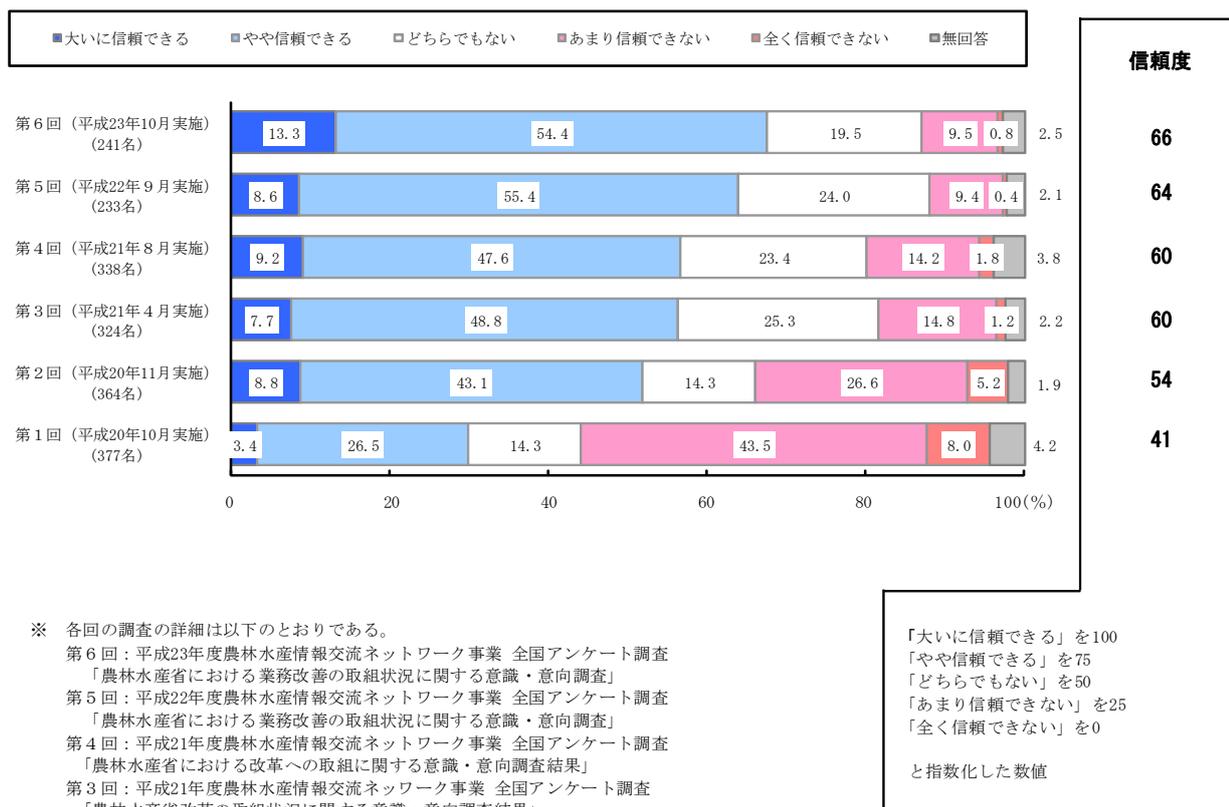


(3) 林業者モニターの評価

林業者モニターの評価については、67.6%のモニターが「信頼できる」としたのに対し、10.3%のモニターが「信頼できない」と回答した。

また、これを指数化した信頼度は「66」となった（図2-3）。

図2-3 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組
(林業者モニターの評価)

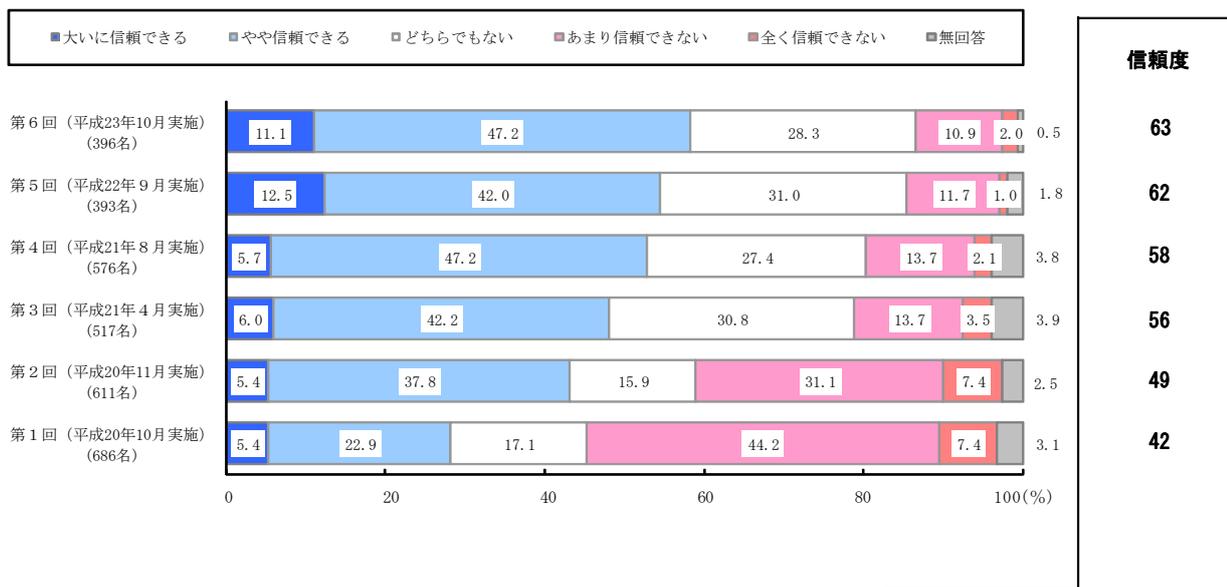


(4) 漁業者モニターの評価

漁業者モニターの評価については、58.3%のモニターが「信頼できる」としたのに対し、12.9%のモニターが「信頼できない」と回答した。

また、これを指数化した信頼度は「63」となった（図2-4）。

図2-4 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組（漁業者モニターの評価）



※ 各回の調査の詳細は以下のとおりである。
 第6回：平成23年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省における業務改善の取組状況に関する意識・意向調査」
 第5回：平成22年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省における業務改善の取組状況に関する意識・意向調査」
 第4回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省における改革への取組に関する意識・意向調査結果」
 第3回：平成21年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省改革の取組状況に関する意識・意向調査結果」
 第2回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「事故米に関する農林水産省の取組についての意識・意向調査結果（第1回）」
 第1回：平成20年度農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
 「農林水産省の役割に対する期待と評価に関する意識・意向調査」

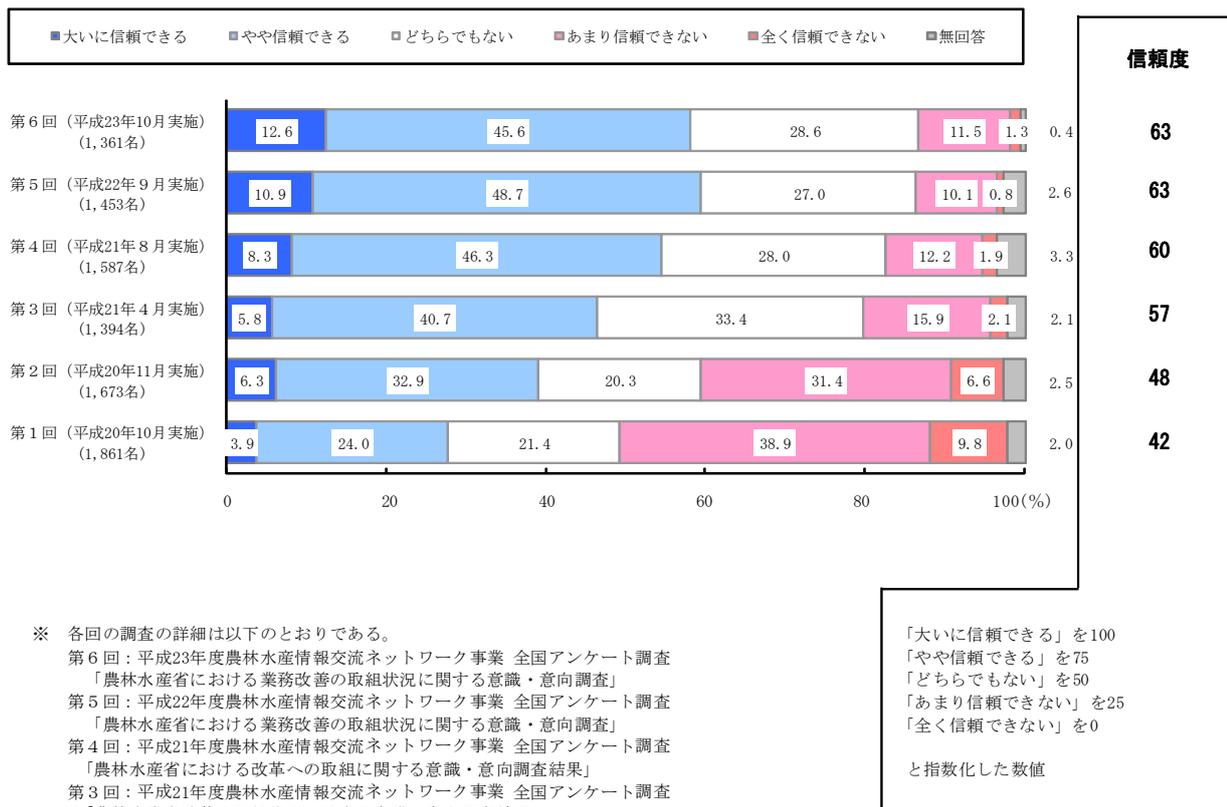
「大いに信頼できる」を100
 「やや信頼できる」を75
 「どちらでもない」を50
 「あまり信頼できない」を25
 「全く信頼できない」を0
 と指数化した数値

(5) 流通加工業者モニターの評価

流通加工業者モニターの評価については、58.2%のモニターが「信頼できる」としたのに対し、12.8%のモニターが「信頼できない」と回答した。

また、これを指数化した信頼度は「63」となった（図2-5）。

図2-5 「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組
(流通加工業者モニターの評価)



【調査事項】

【農林水産省の業務、対応等について】

問1 農林水産省の職員の対応や態度は親切・丁寧で好感が持てると思いますか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそうは思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

問2 農林水産省本省及び各地方出先機関の窓口やホームページなどに設置している意見、質問等の受付窓口は、国民の皆様にとって意見等を出しやすいと思いますか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそうは思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

問3 農林水産省においては、問い合わせや各種申請に対する対応は適切であると思いますか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそうは思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

問4 農林水産政策の目的や政策担当者の意図を国民の皆様に理解していただくための説明や広報など情報提供が十分に行われていると思いますか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそうは思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

問5 農林水産省は、政策を実施する際に、国民の皆さまの意見を十分聞いていると思いますか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそうは思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

問6 農林水産省は、食料の安定供給の確保、農林水産業の発展等の使命を十分果たしていると思いますか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそうは思わない
- 4 そうは思わない
- 5 わからない

問7 農林水産省が取り組んでいる改革について、具体的なご意見等がございましたら回答用紙の記入欄にご記入ください。

(具体的に回答用紙に記入してください。)

【「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組について】

問8 あなたは、「消費者が安全な食料を安心して購入・消費できる」ための農林水産省の取組について、どのように評価しますか。あなたのお考えにもっとも近いと思われるものを次の中から1つお選びください。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 大いに信頼できる
- 2 やや信頼できる
- 3 どちらでもない
- 4 あまり信頼できない
- 5 全く信頼できない

問9 問8で「4 あまり信頼できない」「5 全く信頼できない」をお選びになった方にお尋ねします。その理由について、お知らせください。

(具体的に回答用紙に記入してください。)

【アンケート調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、BSE、事故米問題の教訓を風化させず、前向きに国民の期待・信頼に応えていくための農林水産省改革の取組みの一つとして、毎年、農林水産省職員の振る舞いや業務に対する率直なご意見やご感想を伺い、今後の業務における課題等を確認することを目的としている。

2 調査の対象

本調査は、農林水産情報交流ネットワーク事業実施要領に基づき任命された全てのモニター（消費者モニター、生産者モニター、流通加工業者モニター）を対象とした。

3 調査の内容

本調査は、農林水産省における業務改善等の取組状況について、消費者、生産者（農業者、林業者、漁業者）及び流通加工業者の意識をそれぞれ把握したものである。

4 調査実施時期

調査は、平成23年10月上旬～10月下旬までの間に実施した。

5 調査方法

農林水産省大臣官房統計部からのオンライン調査、並びに地方農政局、北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局、地方農政局の地域センター、北海道農政事務所の地域センター、内閣府沖縄総合事務局の農林水産センターからの郵送調査により行った。

なお、オンライン調査とは、調査対象のモニターが、本調査用ホームページに接続して、回答することにより行うものである。

6 調査対象数及び回収率

	対象者数（人）	回答者数（人）	回収率（％）
消費者モニター	1,800	1,551	86.2
生産者モニター	2,800	2,277	81.3
流通加工業者モニター	2,000	1,361	68.1

7 集計方法

各項目とも、単純平均により集計した。

8 その他

- (1) 図中の括弧書きの数は、各設問の有効回答者数であり、各回答率は、各設問（各区分）の有効回答者数計を 100.0とする割合である。
- (2) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない。

【ホームページ掲載案内】

- 本調査結果は、農林水産省ホームページ内の統計情報のページの左側の「意識・意向調査」からご覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>】

問合せ先

◎調査内容について

農林水産省 大臣官房評価改善課 企画班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線3284

(直通) 03-6738-6137

◎農林水産情報交流ネットワーク事業について

農林水産省 大臣官房統計部

管理課情報室 情報企画班

電話：(代表) 03-3502-8111 内線：3621

(直通) 03-6738-6158